

### 職員基本条例による 定数削減計画は中止・見直しせよ

大阪府は「職員基本条例」にもとづく「職員数管理目標」によって、今後も毎年トップダウンの職員削減をすすめていくとしている(表⑥)。法令を遵守し、残業のない職場をつくるため、少なくとも府当局が定めた「360時間上限規制」を徹底すべきです。

### アンケートで出された意見(抜粋)

〇業務量に見合った人員配置をお願いしたい。(男性)  
 〇年休が消化できない。休めないシフトを上層部が組んでいる。(男性)  
 〇残業の縮減は重要だと思いますが、職員一人一人がもっと意識を高めることも大事だと思います。(男性)  
**〈財務部〉**  
 〇空調が止まるとしんどい。(男性)  
 〇人間らしい生活がしたい。(女性)  
**〈府民文化部〉**  
 〇時間外の事前届も残業終了時に入力しており形骸化、この事前届手続きは無駄。置き換えられた非常勤職員が残業できない分増加していることの実態もある。(男性)  
 〇これ以上、機械的に人が減ると業務がまわらないと考えます。(男性)  
 〇余裕のある人員配置。(女性)

〇残業が多いこと、年休取得が少ないことの両面対策を考えて欲しい。30分〜1時間では残業としていない実態もある。(男性)  
 〇実際の体調が悪い。休日出勤しないとまわらないのは明らかです。府職労は出ますなんて話せません。根性論、精神論の人がまだいるのが驚きです。私は数年目ですが退職も視野に入れて転職活動予定。(女性)  
 〇業務に見合った人員配置をするのか、業務の整理、サービス低下を認めるのか、どちらかを実施しないと残業は減らない。(男性)  
 〇明らかに人数が足りないです。仕事量が多く毎日苦痛です。(女性)  
 〇いくら言っても、人は増えない。仕事は増える、残業は増える。(女性)  
 〇人員配置を考えてほしい。時間外勤務手当はいたっていないが、ほぼ年中業務に追われている。お金をいただいたら良いところにはならないと思う。今は忙しいながらもみんな元気が残業しているから事業がまわっている。(女性)  
 〇時短は小学校に入学した後の方が取りたい。とくに低学年の間は心配です。(女性)  
**〈商工労働部〉**  
 〇各Gに1〜2人ずつ、正職員の増員が欲しいというのが現場の実感だと思えます。業務の集中時とはにかく手が足りない。(男性)  
 〇充分な人員配置をお願いします。室内で咳をする人がたくさんいます。空調(空気入れかえ)をお願いします。(男性)  
 〇咲洲庁舎は遠く、往復で大手前よりも1時間半の口スがある。(男性)  
 〇残業時間が多いと、グループ長が呼び出さるので残業しないと言われまます。ただ仕事の実情を考えると、残業しないと仕事が終わりません。残業ばかりすると悪目立ちすることを気にする方は、休日出勤して仕事を終わらせています。(女性)  
**〈環境農林水産部〉**  
 〇職場の空気物理的なのが悪いので、空気清浄器等の対策をしてほしい。(女性)  
 〇仕事ができる人間に集中する優秀な人材は抜けていく。(男性)  
 〇残業をしたくないけど残業しなければ業務をこなすことが出来ない。残業をすることで上司の印象が悪くなると思うと少し病んでます。(男性)  
 〇近々大阪府をやめます。(男性)  
 〇残業が多すぎるのも問題だが、残業がなければ生活が苦しいのも事実。(男性)  
 〇時間外削減を言われているが、業務量に見合った人員になっていない。(男性)  
 〇咲洲庁舎に異動になり4年。通勤時間が長くなった(1日につき往復で1時間長くなった)ことによる身体へのしわ寄せを感じる。(女性)  
 〇苦情対応・団体調整等、表に現れない業務に時間が費やされ、時間内に本来業

## 憲法を守り「全体の奉仕者」として、 住民のための仕事をするために 『戦争法案』に反対しよう！

今から70年以上前、日本が戦争へと突き進んでいく中、私たちの先輩である府職員は、国の命令に従い「戦時体制」をつくり、住民を戦争へとかりたてる仕事をさせられました。保健所は健康で丈夫な兵隊を送り出す仕事をし、地方事務所(府民センター)は、住民を監視し、軍需品の供出、徴兵などの仕事をしました。いま、国会に提出されている「戦争法案」が成立し、実際に自衛隊が戦闘地域で武力を行使することになれば、日本は「戦争参加国」となります。そうなれば、次第に「戦時体制」がつくられ、空港や道路、港湾などの施設が次々と軍事優先となり、あらゆる情報が秘密・非公開となり、国民は監視・制約のもとにおかれます。私たちの仕事は「住民のための仕事」から「戦争のための仕事」に一変します。憲法を守り「全体の奉仕者」として、住民のための仕事をするために「戦争法案」に反対しましょう！

- ① 全ての職場で学習会をしよう  
「戦争法案」の問題点を学び、私たちの仕事やくらしがどう変わるのか、みんなで考えよう
- ② STOP安倍政権！「戦争法案」阻止！6・23府民集会  
6月23日(火) 18時30分 扇町公園 19時10分パレード出発
- ③ NPT再検討会議報告集会—STOP「戦争法案」、  
基地も核もない平和な日本・世界をめざすつどい—  
6月26日(金) 19時 国労会館3階大会議室
- ④ 「集団的自衛権」行使容認閣議決定から1年、  
「戦争法案」許さない大教組・府職労100人大宣伝  
7月1日(水) 18時30分~19時30分 なんば高島屋前
- ⑤ 国民平和大行進 6月30日(火) 柏原市役所→東大阪市役所/  
7月1日(水) 河内長野市役所→羽曳野市役所→松原市役所/  
7月2日(木) 泉佐野市役所→岸和田市役所和泉市役所/  
7月3日(金) 和泉市役所→浜寺公園→堺市役所/  
7月4日(土) 住吉区役所→大阪城・教育塔前→旭区役所/  
7月5日(日) 守口市役所→寝屋川市役所→枚方市役所/  
7月6日(月) 高槻市役所→茨木市役所→吹田市役所/  
7月7日(火) 豊中市役所兵庫県・川西市役所

務がこなせない。これが慢性的化している。(女性)  
 〇人員配置が業務とずれている。(女性)  
 〇仕事自体は楽しいですが、忙しいです。(女性)  
**〈都市整備部〉**  
 〇4月で他部局へ異動となり、時間外勤務時間が大幅に少なくなりました。初めての異動なのですが、部署が違っただけでこんなにも違うのかと驚いています。(女性)  
**〈住宅まちづくり部〉**  
 〇相対評価制度が導入されたから、特にチャレンジシートによる目立った成果が求められるようになったと感じる。日常業務だけでも一杯である中で、さらに上に気に入られるような余計な業務が押し付けられ、残業は増える傾向にあるのは当然のことだと思う。事は労働関係法を考慮され、正当なものと考えられるべき。(男性)  
 〇仕事量が増えているが人員が減っている。時期にもよるが、キャパを超えていると感じている。(男性)  
 〇SSCで退勤の入力をしている人は、退勤後にサービス残業している人が多い。(男性)  
 〇行政職をあまり減らさないうで欲しい。(男性)  
 〇残業時間を減らすことの手令のもと、結局サービス残業が増えていることに不安を感じます。(男性)  
 〇帰る時間が遅くなると、電車やバスの便が悪くなる。少しでも早く帰宅してほしい。(女性)  
**〈教育委員会事務局〉**  
 〇残業時間があることのみで、人事評価を不当に悪用され、H26年度評価をひどいものにされた。人事行政は労働関係法を考慮され、やれる人でやる体制になってほしい。(女性)  
 〇人増やして！(男性)  
 〇部屋の室温が高すぎる。もう少し冷房を効かせてほしい。(男性)  
 〇3月、4月は残業も休日出勤ももっと多かったです。しんどいです。何のためにこんなに働いているのかわからなくなりました。(女性)  
 〇健康をそこなうてまでは働く意味がない。適正な人員配置を望みます。(女性)  
 〇発生源入力、個人責任と責任を朝7時に出る。5時30分終了で直帰しても夜7時と12時間外に出ている。家で眠れない。家事と睡眠を削るしかない。(女性)  
**〈その他・部局記載なし〉**  
 〇コンプライアンスの観点から、ダブルチェック等の業務が年々増えている。通常業務における残業が減るよう人員を増やすなど対応